



岡山大学における国際バカロレア入試と 修了生の受け入れについて

岡山大学 アドミッションセンター

目次

岡山大学

- 国際バカロレアについて
- 高大接続システム改革との関係
- 日本における取り組み
- 岡山大学の国際バカロレアについての取り組み
- グローバル・ディスカバリー・プログラム

岡山大学

国際バカロレアについて

国際バカロレアについて

岡山大学

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate)

国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム

設立目的 (1968年設立本部ジュネーブ)

1. 総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対応できる生徒を育成し、生徒に対し未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせる。
2. 国際的に適用する大学入学資格 (国際バカロレア資格: DP) を与え、大学進学へのルートを確保する。

認定校制度の下に

共通カリキュラムの作成、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施

IB教育のプログラム

岡山大学

- プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) 【1,509校(国内:22校)】
 - 3歳～12歳を対象。どのような言語でも提供可能。1997年設置。
- ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP) 【1,398校(国内:14校)】
 - 11歳～16歳を対象。どのような言語でも提供可能。1994年設置。
- ディプロマ・プログラム (DP) 【3,209校(国内:33校)】
 - 16歳～19歳を対象。所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格 (DP) を取得可能。原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。1969年設置。
 - 2015年からは、日本語と英語によるデュアルランゲージ・ディプロマ・プログラムが開始。
- キャリア関連プログラム (CP) 【136校(国内:校)】
 - 16～19歳を対象。キャリア教育・職業教育に関連したプログラム。2012年設置。

国際バカロレアプログラム

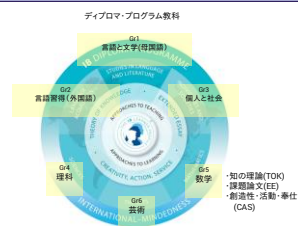
岡山大学

ディプロマ・プログラム

- 学習者像を達成するための
- ・「学習の方法」と教科学習
 - ・評価基準に基づく達成度の内部評価
 - ・内部評価の適正化 (外部評価)
 - ・世界統一試験 (5月または11月)

ディプロマ資格 (最終審査)

- 6科目群: 各7点満点=42点
TOK / EE 3点満点=3点
CASは必修
45点満点中24点以上必要



国際バカロレア教育の理念



国際バカロレア (IB) の使命 (The IB mission)

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する。探究心、知識、思いやりに基づいた若者の育成を目的としている。

IBの学習者像 (The IB Learner Profile)



- 探究する人
- 知識のある人
- 考える人
- コミュニケーションができる人
- 信念をもつ人
- 心を開く人
- 思いやりのある人
- 挑戦する人
- バランスのとれた人
- 振り返りができる人

1

高大接続システム改革との関係



2

新たな時代に向けての教育改革



大きな社会変動

グローバル化・多様化、新興国・地域の勃興、産業・就業構造の転換、生産年齢人口の急減、地方創生への対応

先行き不透明な時代で重要とされる資質や能力

多様な人々と協力しながら
主体的に人生を切り開く力

混とんとした状況の中に
問題を発見し答えや新たな価値
を創造するための資質や能力

こうした資質や能力は、従来の知識・技能を受動的に修得する教育では、十分に育成することはできない。

次代を担う若い世代、これからの時代を生きていく人々が、こうした資質能力を育むことができるように**抜本的な教育改革**を進める必要がある。

この教育改革が成就できるかどうか我が国の運命を左右する！

高大接続システム改革会議最終報告 (平成28年3月31日) 19

新たな時代に向けての教育改革



特に重視すべき学力の3要素

十分な知識・技能

答えが一つに定まらない問題に
自ら解を見だしていく
思考力・判断力・表現力等の能力

主体性をもって多様な人々と協働
して学ぶ態度

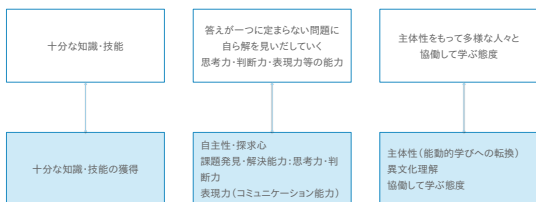
学力の3要素の全てを一人一人の学習者が身に付け、予見困難な時代に、多様な人々と学び、働きながら、主体的に人生を切り開いていく力を育てる教育でなくてはならない！

高大接続システム改革会議最終報告 (平成28年3月31日) 19

新たな時代に向けての教育改革まとめ



特に重視すべき学力の3要素



次代を担う若い世代に必要な学び

高大接続システム改革会議最終報告 (平成28年3月31日) 19

新たな時代に向けての教育改革と国際バカロレア



IBの学習者像 (The IB Learner Profile)

次代を担う若い世代に必要な学び



- 探究する人
- 知識のある人
- 考える人
- コミュニケーションができる人
- 信念をもつ人
- 心を開く人
- 思いやりのある人
- 挑戦する人
- バランスのとれた人
- 振り返りができる人

- 十分な知識・技能の獲得
- 自主性・探究心
課題発見・解決能力: 思考力・判断力
表現力 (コミュニケーション能力)
- 主体性 (能動的学びへの転換)
異文化理解
協働して学ぶ態度

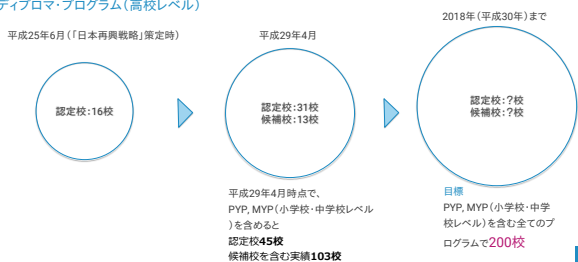
20

日本における取り組み

- 日本における取組み(2013年以降) 平成27年度
- 1条校での国際バカロレア・コース導入のための措置
 - DP科目履修を高校卒業単位に算入する特別措置など
 - 教員確保のための措置
 - 外国人教員特別免許
 - 教員認定のためのワークショップ受講支援
 - 各種教科指導手引きなどの翻訳
 - IB認定のための手引き作成
 - 大学入学選抜へのIB制度導入
- ▶ 日本語DP(デュアル・ランゲージプログラム)導入
6科目中4科目まで日本語で受講可能

国際バカロレア認定校の増加

ディプロマ・プログラム(高校レベル)



岡山大学の国際バカロレアについての取組み

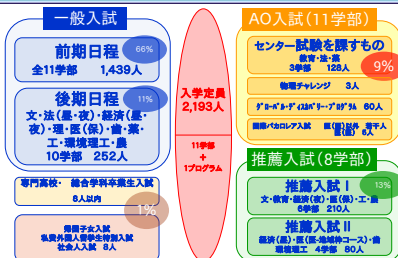
岡山大学の学部:11学部+1コース+1プログラム

<p>文系</p> <p>心豊かな人材の育成</p> <p>文学部 教育学部 法学部 経済学部</p>	<p>理工系</p> <p>物づくりに挑戦する人材の育成</p> <p>理学部 工学部 環境理工学部 農学部</p>	<p>医療系</p> <p>健康に専任する人材の育成</p> <p>医学部 歯学部 薬学部</p>
--	---	--

グローバル・ディスカバリー・プログラム(GDP)
マッチングプログラムコースも並走・発展させた新しい教育プログラム。
(H29年10月募集は海外向け、国内の高校生向けの募集はH30年4月募集からスタート)

マッチングプログラムコース H29年4月入学入試で募集停止
自分に合ったカリキュラムが組めます

30年度入試:さまざまな入試方法



岡山大学のIBへの取り組みの特徴



- 早い時期(平成20年度)からの取り組み
- 国際バカロレアの教育理念、教育内容・方法、学修評価を高く評価
 - 当初から筆記試験なしで合否判定
- 全学体制での取り組み
 - 全ての募集単位で受け入れ
- 全学組織*が一体となって、国際バカロレア教育を大学教育に生かす取り組みの推進
 - IBのコア科目「知の理論」入門授業の授業教育へ導入
 - 高校・大学教育関係者を対象にした「知の理論」についてのワークショップの開催
 - *全学組織: 高等教育推進室、アドミッションセンター、教育開発センターなど
- 入学者の支援体制を整備

21

国際バカロレア入試導入の推移[1/2]



22

国際バカロレア入試導入の推移[2/2]



23

国際バカロレア入試の設計

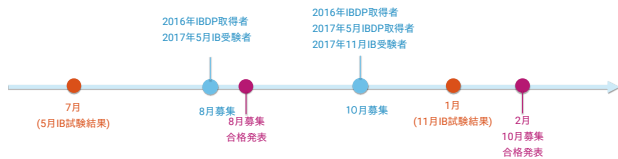


- 入試のスケジュール**
- 北半球の海外旧校出身者(5月受験)
 - 8月募集は、国内の大学への進学のために帰国したIB-DP修了者を対象に、4月入学生として募集
 - 南半球の旧校や一条校在籍者(11月受験予定者)
 - 10月募集として翌年1月の試験結果を基に書類審査(4月入学)
 - 5月の最終試験受験予定者の10月入学(グローバル・ディスカバリー・プログラムのみ)
 - 1月募集として5月試験の見込み点を基に審査する(条件付き合格)

<p>4月入学(全学部)</p> <p>最終試験の点数で合否判定</p> <p>8月募集(5月IB試験受験者、DP取得者)、10月募集(11月IB試験受験予定者、DP取得者)の2回実施</p>	<p>10月入学(GDPのみ)</p> <p>最終試験の見込み点、最終試験の点数での合否判定</p> <p>10月入学: 1月募集(5月IB試験受験者、DP取得者)</p>
---	---

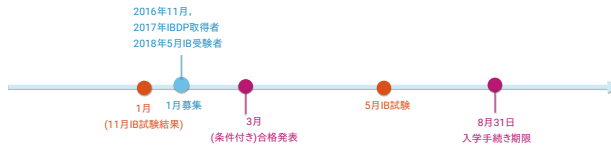
24

国際バカロレア入試の設計 4月入学



25

国際バカロレア入試の設計 10月入学



26

国際バカロレア入試の設計



入試

書類審査のみ

文学部、法学部、経済学部、理学部、薬学部、工学部、環境理工学部、農学部、グローバル・ディスカバリープログラム

書類審査 + 面接

教育学部、医学部（医学科、保健学科）、歯学部

※書類：「成績評価証明書」、「自己推薦書」、「評価書」

履修指定科目と成績

出願を受理する学部・学科ごとに、入学後の履修に必要な知識や技能を考慮して、IB教育課程での履修科目とその成績を指定

IB教育の内容とディプロマ資格の学習成果の評価を信頼し、ディプロマ資格者を、原則として書類審査のみで受け入れ(出願可能)

最終試験の点数を出願の条件としているのは医学部医学科のみ(45点満点中39点)

27

2018年4月入学のIB入試の選抜方法



出願資格 (出願はインターネットによる出願のみ)

- 国際バカロレア資格証明書 (IB7th / 7th / 7th) を2016年4月から2018年3月までに授与される者で、2018年3月31日までに18歳に達する者
- 国際バカロレア資格取得において、次の①及び②に該当する者

①言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者。

ただし、次の学部・学科・課程・専攻においては、以下の通りとする。

■教育学部、医学部、歯学部

日本語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上又は、言語Bを日本語により履修し、HLで成績評価が6以上の者。

■グローバル・ディスカバリー・プログラム

言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上又は、言語Bを日本語により履修し、HLで成績評価6以上、又は、日本語能力試験 (JLPT) N1に合格した者、又はこれと同等以上の日本語能力を有する者。

②本学の指定する科目を履修し、必要な成績評価を修めた者。

28

2018年10月入学のIB入試の選抜方法



出願資格 (出願はインターネットによる出願のみ)

- 国際バカロレア資格証明書 (IB7th / 7th / 7th) を2016年10月から2018年9月までに授与される者で、2018年9月30日までに18歳に達する者
- 国際バカロレア資格取得において、グループ1～6から1科目を上級レベル(Higher Level)により履修し、成績評価4以上の者

参考:

4月入学では

■グローバル・ディスカバリー・プログラム

言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上又は、言語Bを日本語により履修し、HLで成績評価6以上、又は、日本語能力試験 (JLPT) N1に合格した者、又はこれと同等以上の日本語能力を有する者。

29

各募集単位の指定科目 [1/3]



	学部・学科・専攻等	募集人員	指定する科目
文学部	人文学科	若干人	日本語A (HL4以上)
	学校教育教員養成課程	若干人	1科目HL4以上
教育学部	養護教諭養成課程	若干人	グループ6以外から1科目HL4以上
	法学部	法学科 (昼間コース)	若干人
経済学部	経済学科 (昼間コース)	若干人	グループ3から1科目HL4以上または数学HL4以上
医学部	医学科	3人×2人 (8月募集+10月募集)	物理、化学、生物から2科目および数学 (うち1科目はHL4以上、もう一方はSL5以上又はHL (成績評価は問わない)) 満点中39点以上

30

各募集単位の指定科目 [2/3]



	学部・学科・専攻等	募集人員	指定する科目
理学部	数学科	若干人	数学 (HL4以上)
	物理学科		数学、物理から1科目 (HL4以上)
	化学科		数学、物理、化学から1科目 (HL4以上)
	生物学科		数学、物理、化学、生物から1科目 (HL4以上)
	地球科学科		物理、化学から1科目 (HL4以上)
医学部	看護学	若干人	物理、化学、生物から1科目 (HLないしSLを履修、成績評価は問わない)
	放射線技術科学		
	臨床技術科学		
工学部	機械システム系学科	若干人	数学 (HL4以上) 及び 物理 (HL4以上またはSL4以上)
	電気通信系学科		数学 (HL4以上)
	情報系学科		数学 (HL4以上) 及び 化学 (HL4以上) 又は数学 (HL4以上またはSL4以上)
	化学系系学科		

31

各募集単位の指定科目 [3/3]



	学部・学科・専攻等	募集人員	指定する科目
環境理工学部	環境数理学科	若干人	数学 (HL成績評価4以上)
	環境デザイン工学科		物理、化学から1科目及び数学1科目 (どちらか1科目はHL4以上、もう一方はSL5以上又はHL (成績評価は問わない))
	環境管理工学科		物理、化学、生物から1科目及び数学 (どちらか1科目はHL4以上、もう一方はSL4以上又はHL (成績評価は問わない))
	環境物質工学科		数学 (SL4以上又はHL (成績評価は問わない)) 及び物理が化学のどちらかHL4以上
農学部	総合農業科学科	若干人	物理、化学、生物から1科目及び数学 (どちらか一方の科目はHL4以上、もう一方の科目はSL5以上又はHLで履修 (成績評価は問わない))
グローバル・ディスカバリー・プログラム		若干人	グループ6 (芸術) 以外から1科目 (HL4以上)

32

国際バカロレア入試志願者と入学者の推移



4月入学

年度	2012年	13年	14年	15年	16年	17年	合計
志願者数	1	1	2	9	13	17	43
合格者数	1	1	2	6	11	16	37
入学者数	1	0	0	2	5	7	15

10月入学 (MPコース、グローバル・ディスカバリー・プログラム:GDP)

年度	2013年	14年	15年	16年	17年	合計
志願者数	3	6	6	4	(4)	19+(4)
合格者数	3	5	6	4	(3)	18+(3)
入学者数	1	3	3	0	(0)	7+(0)

2017年からGDP

国際バカロレア入試による本学在学学生数



入試年度	入学学部・コース
2012年4月	1人 (MPコース)
2013年10月	1人 (MPコース)
2014年10月	1人 (MPコース)
2015年4月	1人 (医学部医学科), 1人 (医学部保健学科), 3人 (MPコース)
2016年4月	1人 (医学部保健学科), 1人 (工学部), 1人 (環境理工学部), 2人 (MPコース)
2017年4月	1人 (文), 2人 (教育), 2人 (医学部医学科), 2人 (MPコース)

在学学生数 20人
男子学生:10人; 女子学生:10人

国内IB校から

11人
医学部医学科、医学部保健学科、工学部、環境理工学部、MPコース

名古屋:静岡;群馬;広島;福岡

海外IB校から

9人
医学部医学科、医学部保健学科、MPコース

シンガポール;ドイツ;ドバイ;オランダ

国際バカロレア修了生受入れ体制



国際バカロレア修了生への期待

基礎学力に加え、語学力、コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化に対する理解などの能力を備えており、**本学におけるグローバル人材の中心的役割**を果たす人材として期待される

IB教育:論理的思考力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力、異文化理解などの獲得

国際バカロレア修了生受入れ体制



受入体制整備の必要性

海外の高校などで、日本の高校とは異なる教育環境にあったIB生を本学の教育課程にスムーズに受け入れるためには配慮が必要。
受入者数は国立大学の中では多く、他大学に先進事例を示す。
様々な学部への入学者がおり、学部横断的な受入体制が必要。

国際バカロレア修了生の活動支援

アドミッションセンターに教員 (IBアドバイザー) を配置

- (活動) 個人面談
- コミュニケーショングループ運営: SNS:IB岡大LINEグループ
- 学生セミナー支援 (英語セミナー)
- 受け入れ学部 (指導教員) との面談

グローバル・ディスカバリー・プログラム



マチングプログラムコースを拡充・発展させた新しい教育プログラムが2017年10月からスタート!

マチングプログラムコース

- 入試: 国内入試 (19科目/1人)
- 国内入試: 国内入試 (19科目/1人)
- 海外入試: 海外入試 (19科目/1人)
- 国際入試: 国際入試 (19科目/1人)

カリキュラム

- IBアドバイザーの指導を基本とした学修のための基礎的学習プログラム
- IB認定の国際機関認定の専攻科目の学習プログラム
- IB認定の国際機関認定の専攻科目の学習プログラム

国際バカロレア修了生

- 英語力向上: 英語力向上
- 異文化理解: 異文化理解
- 国際社会貢献: 国際社会貢献

グローバル・ディスカバリー・プログラム

19科目/1人

- 国内入試 (19科目/1人)
- 海外入試 (19科目/1人)
- 国際入試 (19科目/1人)

カリキュラム

- IB認定の国際機関認定の専攻科目の学習プログラム
- IB認定の国際機関認定の専攻科目の学習プログラム

国際バカロレア修了生

- 英語力向上: 英語力向上
- 異文化理解: 異文化理解
- 国際社会貢献: 国際社会貢献

アドミッションポリシー



教育内容・特色

- グローバル・ディスカバリー・プログラムでは、世界各地から集まった留学生・帰国生、日本国内の高校出身者など、多様な背景と経験を持つ学生たちの協働と学び合いを基礎としつつ、インターンシップやフィールドワークなど実践的な学びを重視します。学部や学科の枠にとらわれず、将来の目標に適した科目履修を通じて専門知識を修得し、取り組むべき課題や進むべき道筋を自ら発見し、文化や専門分野の異なる他者と協力しながら、課題解決に向けて的確に行動できる能力を涵養します。
- 学生各自が組み立てた履修プログラムを通じて、専門的な知識や技能の修得を促し、卒業研究では、教員の指導の下に自ら設定した課題に取り組むことで、収集した情報を多角的・創造的に分析する力と、社会に向けて的確な情報を効果的に発信する力を培います。これらの教育を通じて、地域レベルから地球レベルまでに至る社会のイノベーションのために自ら行動でき、グローバル社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。

求める人材

- 多様な文化や社会に目を向け、世界を舞台に活躍する意志を持つ人
- 幅広い分野での学修や言語の修得など、主体的な学びに積極的な人
- 他者と十分なコミュニケーションを図ることができ、互いに協力しながら課題に取り組む姿勢を持つ人

GDPの入試



GDP国際入試 30人

2017年度は3期に分けて実施
主に10月入学
英語能力が必要

国際バカロレア入試 若干人

4月入学
カリキュラムの関係上、英語能力
に加え日本語能力が必要
10月入学
英語能力が必要

ディスカバリー入試 30人

実績評価型
一般型
2日間にまたがり多面的な評価を
する入試
日本語能力が必要

39

ディスカバリー入試(実績評価型:募集人員5人)の試験内容



対象となる実績や体験

- ・人文社会や自然科学に関する研究や英語運用能力を競う全国大会等での実績
- ・海外でのフィールドワークや研修など、選考を経て参加した海外での活動体験
- ・世界各国の高校生が集まって開かれた国際会議・国際大会への参加
- ・海外の中等教育学校での6ヶ月以上の修学経験
- ・その他、上記に準ずる実績等

書類審査による第一次選抜を合格した人に対し、個人面接による第二次選抜を実施

書類審査で不合格となった人は、一般型へ

40

ディスカバリー入試(一般型:募集人員25人)の試験内容



- 重視される能力
- 英語を含めた基礎学力
 - 学修に対する目的意識
 - 学習意欲
 - 課題に対する理解力
 - 論理的思考力
 - 表現力
 - コミュニケーション力

このプログラムでの勉学に必要な
英語を含めた基礎学力のほか、学修に対する目的意識、学習意欲、課題に対する理解力、
論理的思考力、表現力、コミュニケーション力を重視して選抜する入試

41

ご清聴ありがとうございました。



42